

提出する原稿について

- Word 等で作成した完全原稿をお願いします。
- 文章（特に英文）、図表番号、キャプションなどは著者の責任で推敲、校正をお願いします。
- 原稿データの入った電子ファイルと、紙に出力した原稿を提出してください。
- 主な様式は下記の通りで、詳細は昨年の本誌ならびに添付の【様式 2】を参考にしてください。
 - 用紙は A4 で、上下左右の各マージンは、30、30、20、20mm とする。
 - 本文は明朝 10.5 ポイントとし、段組はせず、1 ページあたり、45 行、45 字程度で仕上げる。
 - 原則として一論文あたり 20 ページを上限とする。
(上限を超えた場合は、紀要編集委員会にて掲載の可否を審議します。なお掲載の場合、超過分につきまして、1 ページごとに 2,000 円をご負担いただきます。)
 - 句読点は「、。」または「, .」のどちらかに揃える。
 - キーワードを 5 つ程度と、著者名の英文表記は、表紙のページ下段に様式 2 のように記入する。
 - 1 頁の本文の最後の行とキーワードとは 2 行空ける。
 - 図、表の説明は、日本語でも英語でも可。図、表の標題は、図は下部、表は上部に位置する。
 - 引用文献は、著者名、年、表題、雑誌名、巻(号)、ページの順にする。
- 研究紀要巻末に要旨一覧を掲載しますので、論文本体に加え 300 字程度の要旨も併せてご提出ください。
- 主執筆者としての投稿は原則 1 編、校正は 1 回となります。